

## 平成 20 年度第 3 回化学教育 FD/IT 活用研究委員会議事概要

I. 日 時：2008 年 9 月 30 日（火）午後 4：00～6：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

III. 出席者：高野委員長、及川委員、堀合委員、伊藤委員、庄野委員、幅田委員、  
竹岡委員、木村委員  
井端事務局長、森下、恩田

IV. 検討事項：

1. 化学教育における学士力について

第 2 回委員会における議論、第 2 回委員会で得た成案、および「化学教育における学士力の到達目標（案）」に関する私立大学教員のオープンコメントを踏まえ検討を行い、以下の成案を得た。

### 化学教育における学士力の到達目標（案）

1. 物質科学の観点から、身の回りの現象・事象や環境・食料・エネルギーなど多くの問題を適切に認識し、判断できる。
2. 化学物質の性状や化学反応の基礎知識、実験技術および数値解析技術を用いて問題解決に取り組むことができる。
3. 現代化学における新たな知見に基づいて論理的思考を行い、持続可能性・安全性・信頼性などに配慮して、物質を適切に活用することができる。

2. 今後の活動について

今後の活動については、次回委員会にて検討する。

3. その他

次回の委員会開催予定日：2009 年 1 月以降とし、各委員の予定を調整の上開催する。

配布資料：

参考 1：「平成 21 年度・概算要求：国による支援・取り組み(各選考分野を通じて培う「学士力」)抜粋」、文部科学省（平成 20 年 7 月）

参考 2：「OECE による学習成果の評価」、Kei-Net 河合塾の進学情報誌  
Guideline 2008 7、8月号

その他：「化学教育における学士力の到達目標（案）」に関する私立大学教員のオープンコメント一覧